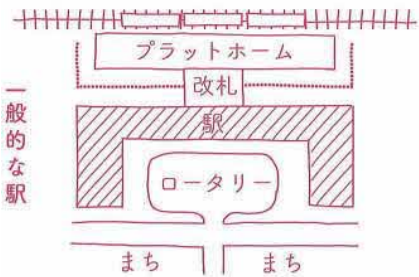
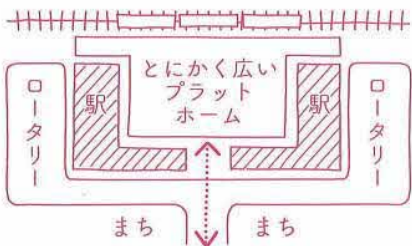


2024年、新しい高森駅が完成しました!!



一般的な駅



新しい高森駅には駅前ロータリーがありません。駅前には、塔と回廊で囲まれた芝生広場があります。改札口がなく、地続きの「とにかく広いプラットフォーム」となっています。こうした特徴は、高森駅が南郷谷の一番奥の高地にあり、壮大なカルデラを見渡すことができるという地形的条件から生まれました。現在の湧水トンネル公園の出水で線路の延伸が叶わず、夕日を眺めることができる西向きのプラットフォームになったことも大きな魅力となりました。終発着駅ということで、列車の入れ替え作業を間近で見られることもできます。新しい高森駅は、町に列車がやってくる喜びを表すために作られました。

世界にひとつしかない駅



南郷檜の塔

旧駅舎のイメージを継承するために、町から見える塔が作られました。夜になるとライトアップされ、ぼんぼりのような優しい光に包まれます。



ステージ

これまでの駅にあったステージの継承。交流施設から回廊が伸びているため雨天でも使用できるような設計になっています。



とにかく広いプラットフォーム

総長160メートルのプラットフォームは西向きに作られているので、カルデラに沈む夕日を見ることができます。夕日と列車がおりなす雄大な風景をお楽しみください！



みんなの書斎

じゅうたん敷きの「みんなの書斎」は地元学生たちによるワークショップで提案された誰でも使えるまちのラウンジです。



回廊

南郷檜でつくられた高森オリジナルの「修羅組み」が見どころ。「修羅組み」は場所によって伸びたり、縦方向に広がったり、積み重なります。場所によって違う見え方ができ、木の表情を楽しむことができます。



芝生広場

人々の集いの場にもなる芝生広場。高森駅のシンボルフランキー像も阿蘇山の景色や、夕焼けをバックにした写真スポットにピッタリです。朝から夜まで違った景色を楽しめる広場になっています。

皆が集う交流の場に

新しく完成した交流施設の魅力ををご紹介します。熊本地震の大きな被害を乗り越えた、世界にひとつしかない駅に是非お越しください！